

(株) ティーズコンサルティング

キャリアアップ教育訓練計画

(職種：IT エンジニア)

■ 全体設計（キャリア構造）

- 入職時： 情報セキュリティ・開発基礎・業務ルールを理解
 - 1 年目： 実装・テストを中心とした基礎技術の定着
 - 2 年目： 設計補助・開発自走・品質意識の向上
 - 3 年目： 設計力・改善力・後輩指導力の強化
 - 4 年目以降： リーダー／サブリーダー（初級管理職）
-

I. 入職時の教育訓練（8 時間）

■ 目的

IT エンジニアとして必要な情報セキュリティ・開発基礎・業務ルールを習得し、重大事故（情報漏えい・品質事故）を防止する。

■ 実施形態

OFF-JT（集合／オンライン）＋演習

■ 内容（8 時間）

- (1) オリエンテーション（1h）
 - 指揮命令系統、派遣就業時の遵守事項
 - 報連相・勤怠・作業報告ルール
- (2) 情報セキュリティ・コンプライアンス（2h）★最重要
 - 個人情報、機密情報の取扱
 - 持出禁止、アクセス制御、パスワード管理
 - ソースコード管理（Git 等）の基本ルール
- (3) IT 基礎技術（2h）
 - 開発工程（要件定義～テスト）
 - 基本的なプログラミング概念（変数、制御構文等）
 - ネットワーク・DB の基礎
- (4) 開発環境・ツール操作（2h）
 - IDE、バージョン管理、課題管理ツール（Jira 等）
 - 作業手順、レビューの流れ
- (5) 品質・テストの基本（1h）
 - テストの種類（単体・結合・総合）
 - バグ報告の方法

■ 評価

- セキュリティ理解度テスト（必須）

- 基礎技術確認テスト
 - 簡易コーディング演習
-

2. 職能別訓練（派遣 1 年目）

■ 目的

開発業務の基礎（実装・テスト）を確実に遂行できるレベルに到達する。

■ 実施時間

年間 16～24 時間

■ 内容（職務直結）

- プログラミング実践
 - Java／Python 等の基本文法
 - コーディング規約遵守
- テスト工程
 - 単体テスト設計・実施
 - バグ報告・再現手順の記載
- 開発プロセス
 - チケット駆動開発（課題管理）
 - プルリクエスト・レビュー対応
- ドキュメント作成
 - 手順書、設計補助資料の作成

■ 評価

- コードレビュー合格率
 - テスト実施品質（バグ検出・報告精度）
 - 作業遅延率・手戻り率
-

3. 職能別訓練（派遣 2 年目）

■ 目的

設計理解・実装の自走能力を高め、**工程内で完結できるエンジニア**へ。

■ 実施時間

年間 16～24 時間

■ 内容

- 設計力強化
 - 詳細設計書の読解・作成補助
 - データベース設計（ER 図、正規化）
- 開発応用
 - API 連携、外部サービス連携
 - ログ解析・障害対応
- 品質意識
 - コーディング品質（可読性・保守性）
 - セキュアコーディング
- 業務改善
 - 作業効率化（自動化、ツール活用）

■ 評価

- 設計理解度テスト
 - 障害対応の正確性
 - コード品質評価（レビュー指摘減少）
-

4. 職能別訓練（派遣3年目）

■ 目的

設計・改善・指導ができる「中核エンジニア」へ。

■ 実施時間

年間 16～24 時間

■ 内容

- 設計力（上流寄り）
 - 基本設計作成補助
 - 処理フロー設計
- 技術リーダー補助
 - 技術選定の考え方
 - コードレビュー担当
- 後輩育成
 - OJT 指導方法
 - コーディング指導
- 改善活動
 - 開発プロセス改善
 - 品質改善（不具合削減施策）

■ 評価

- レビュー実施・指導実績
 - 改善提案件数・採用実績
 - 設計書品質
-

5. 階層別訓練（派遣 4 年目以降）

■ 目的

チームを率いる初級管理職（PL 補佐・サブリーダー）としての能力を養成

■ 実施時間

年間 12～18 時間

■ 内容

- 初級管理職研修
 - プロジェクト管理（進捗・品質・コスト）
 - タスク割当・リソース管理
 - 会議運営・報告
- コミュニケーション
 - 顧客折衝基礎
 - 要件調整
- 労務管理
 - 長時間労働防止
 - ハラスメント防止
- リスク管理
 - 障害対応・インシデント管理
 - セキュリティ事故対応

■ 評価

- チーム納期遵守率
 - 品質指標（不具合件数）
 - チーム管理実績
-